

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	リリーこども&スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 リリー文化学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校本部事務局に備え付け・閲覧。入手方法は来校し本部事務局へ直接問い合わせる。
収支計算書又は損益計算書	学校本部事務局に備え付け・閲覧。入手方法は来校し本部事務局へ直接問い合わせる。
財産目録	学校本部事務局に備え付け・閲覧。入手方法は来校し本部事務局へ直接問い合わせる。
事業報告書	学校本部事務局に備え付け・閲覧。入手方法は来校し本部事務局へ直接問い合わせる。
監事による監査報告（書）	学校本部事務局に備え付け・閲覧。入手方法は来校し本部事務局へ直接問い合わせる。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

【こども未来学科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育福祉		保育福祉専門課程	こども未来学科	○	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年 4年	昼	2670 単位時間/単位 (3年)	555 単位時間/単位	1530 単位時間/単位	540 単位時間/単位	単位時間/単位	45 単位時間/単位
		3570 単位時間/単位 (4年)	1125 単位時間/単位	1500 単位時間/単位	900 単位時間/単位	単位時間/単位	45 単位時間/単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
280人		89人	0人	21人	71人	92人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・シラバスの作成過程及び時期 9月 教育課程（案）の内容を検討 12月 教育課程編成会議において審議 2月 授業計画（シラバス）の決定 ・シラバスの公表時期 翌年4月
成績評価の基準・方法
（概要） 1. 履修科目の試験結果を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する（100点満点で点数化） 2. 年2回の試験結果に基づき1の方法により学生毎の平均点を算出している。

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>1. 学則第12条1各授業科目の課程終了の認定は、原則としてその授業を終了した学期末試験及びその他適当な方法で判定した成績により、所定の単位を与える。2各授業科目の出席時間が指定時間数の3分の2(教育実習・保育実習・介護実習については5分の4)に満たない者については、当該科目の履修の認定をしない。)出席日数及び第13条(1成績の評価は、A(優)80点以上、B(良)70点以上、C(可)60点以上、D(不可)59点以下とし、C以上を合格とする。)の試験点(課題提出等含む)に達している学生は進級、卒業成績判定会議において公正公平なる判定を受け卒業予定者となる。</p> <p>2. 1の卒業要件に加え学則第14条(1本校を卒業するためには、こども未来学科の学生は2年以上、こども教育学科は4年以上、介護ふくし学科及び健康スポーツ学科の学生は2年以上在学し、別表第1、別表第2、別表3及び別表4に定めるところによりこども未来学科スポーツ保育士コース(2年制)は93単位、幼稚園教諭・保育士コース(3年制)は96単位、小学校/幼稚園教諭・保育士コース(4年制)は145単位、こども教育学科は180単位、介護ふくし学科は90単位、健康スポーツ学科は78単位以上を修得しなければならない。2本校にこども未来学科は2年以上、こども教育学科は4年以上、介護ふくし学科及び健康スポーツ学科は2年以上在学し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、校長が卒業を認定する。3校長は、卒業を認定したに対して卒業証書を授与する。4本校のこども未来学科、介護ふくし学科及び健康スポーツ学科を卒業した者は、専門士と称することができる。こども教育学科を卒業した者は、高度専門士と称することができる。5介護福祉士実務者研修を修了するためには、別表5に定めるところによる時間を修得しなければならない。)の実習単位修得した者が進級、卒業となる。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>学業に関する悩みを抱える学生に対して、クラス担当教員を配置し相談窓口を設けている。さらに、学生指導部専任教員が担当教員のサポートを行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	0人 (0%)	23人 (88.5%)	3人 (11.5%)
(主な就職、業界等)			
小学校、幼稚園、保育園、認定こども園、企業主導型保育園、病院内保育園、学童クラブ、児童養護施設、障害児施設、乳児院、幼児体育機関			
(就職指導内容)			
学生に対する就職支援プログラム、民間保育園協会主催保育セミナーに参加など			
(主な学修成果(資格・検定等))			
リトミックインストラクター資格取得、キャンプインストラクター資格取得など			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
91人	6人	6.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更また成績不振のため自主的に退学		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学業に関する悩みを抱える学生に対して、クラス担当教員を配置し相談窓口を設けている。さらに、学生指導部専任教員が担当教員のサポートを行っている。		

【介護ふくし学科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育福祉		保育福祉専門課程	介護ふくし学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2052単位時間/単位	930 単位 時間/単位	660 単位 時間/単位	462 単位 時間/単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
		単位時間					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	8人	0人	21人	71人	92人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・シラバスの作成過程及び時期 9月 教育課程(案)の内容を検討 12月 教育課程編成会議において審議 2月 授業計画(シラバス)の決定 ・シラバスの公表時期 翌年4月
成績評価の基準・方法
(概要) 1. 履修科目の試験結果を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する (100点満点で点数化) 2. 年2回の試験結果に基づき1の方法により学生毎の平均点を算出している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 1. 学則第12条1各授業科目の課程終了の認定は、原則としてその授業を終了した学期末試験及びその他適当な方法で判定した成績により、所定の単位を与える。2各授業科目の出席時間が指定時間数の3分の2(教育実習・保育実習・介護実習については5分の4)に満たない者については、当該科目の履修の認定をしない。)出席日数及び第13条(1成績の評価は、A(優)80点以上、B(良)70点以上、C(可)60点以上、D(不可)59点以下とし、C以上を合格とする。)の試験点(課題提出等含む)に達している学生は進級、卒業成績判定会議において公正公平なる判定を受け卒業予定者となる。 2. 1の卒業要件に加え学則第14条(1本校を卒業するためには、こども未来学科の学生は2年以上、こども教育学科は4年以上、介護ふくし学科及び健康スポーツ学科の学生は2年以上在学し、別表第1、別表第2、別表3及び別表4に定めるところによりこども未来学科スポーツ保育士コース(2年制)は93単位、幼稚園教

論・保育士コース（3年制）は96単位、小学校/幼稚園教諭・保育士コース（4年制）は145単位、こども教育学科は180単位、介護ふくし学科は90単位、健康スポーツ学科は78単位以上を修得しなければならない。2本校にこども未来学科は2年以上、こども教育学科は4年以上、介護ふくし学科及び健康スポーツ学科は2年以上在学し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、校長が卒業を認定する。3校長は、卒業を認定したに対して卒業証書を授与する。4本校のこども未来学科、介護ふくし学科及び健康スポーツ学科を卒業した者は、専門士と称することができる。こども教育学科を卒業した者は、高度専門士と称することができる。5介護福祉士実務者研修を修了するためには、別表5に定めるところによる 時間を修得しなければならない。)の実習単位修得した者が進級、卒業となる。

学修支援等
 (概要)
 学業に関する悩みを抱える学生に対して、クラス担当教員を配置し相談窓口を設けている。さらに、学生指導部専任教員が担当教員のサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (%)	6人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 老人福祉施設、介護老人保健施設、デイサービスセンター、病院、障害者支援施設、グループホーム			
(就職指導内容) 学生に対するの就職支援プログラム、社会福祉協議会主催「福祉のお仕事セミナー」に参加など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士国家試験受験受験資格、赤十字救急法救助員資格取得など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) 在留資格に関わる出席動態、成績不振のため自主的に退学		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学業に関する悩みを抱える学生に対して、クラス担当教員を配置し相談窓口を設けている。さらに、学生指導部専任教員が担当教員のサポートを行っている。		

【健康スポーツ学科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育福祉		保育福祉専門課程	健康スポーツ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2460単位時間/単位	630 単位 時間/単位	1095 単位 時間/単位	690 単位 時間/単位	単位時間/ 単位 45 単位 時間/単位	
単位時間							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		65人	0人	21人	71人	92人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・シラバスの作成過程及び時期 9月 教育課程(案)の内容を検討 12月 教育課程編成会議において審議 2月 授業計画(シラバス)の決定 ・シラバスの公表時期 翌年4月
成績評価の基準・方法
(概要) 1. 履修科目の試験結果を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する (100点満点で点数化) 2. 年2回の試験結果に基づき1の方法により学生毎の平均点を算出している。
卒業・進級の認定基準
1. 学則第12条1各授業科目の課程終了の認定は、原則としてその授業を終了した学期末試験及びその他適当な方法で判定した成績により、所定の単位を与える。2各授業科目の出席時間が指定時間数の3分の2(教育実習・保育実習・介護実習については5分の4)に満たない者については、当該科目の履修の認定をしない。)出席日数及び第13条(1成績の評価は、A(優)80点以上、B(良)70点以上、C(可)60点以上、D(不可)59点以下とし、C以上を合格とする。)の試験点(課題提出等含む)に達している学生は進級、卒業成績判定会議において公正公平なる判定を受け卒業予定者となる。 2. 1の卒業要件に加え学則第14条(1本校を卒業するためには、こども未来学科の学生は2年以上、こども教育学科は4年以上、介護ふくし学科及び健康スポーツ学科の学生は2年以上在学し、別表第1、別表第2、別表3及び別表4に定めるところによりこども未来学科スポーツ保育士コース(2年制)は93単位、幼稚園教諭・保育士コース(3年制)は96単位、小学校/幼稚園教諭・保育士コース(4年制)は145単位、こども教育学科は180単位、介護ふくし学科は90単位、健康スポーツ学科は78単位以上を修得しなければならない。2本校にこども未来学科は2年以上、こども教育学科は4年以上、介護ふくし学科及び健康スポーツ学科は2年以上在学し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、校長が卒業を認定する。3校長は、卒業を認定したに対して卒業証書を授与する。4本校のこども未来学科、介護ふくし学科及び健康スポーツ学科を卒業した者は、専門士と称することができる。こども教育学科を卒業した者は、高度専門士と称することができる。5介護福祉士実務者研修を修了するためには、別表5に定めるところによる時間を修得しなければならない。)の実習単位修得した者が進級、卒業となる。

学修支援等
(概要) 学業に関する悩みを抱える学生に対して、クラス担当教員を配置し相談窓口を設けている。さらに、学生指導部専任教員が担当教員のサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	0人 (0%)	25人 (96.2%)	1人 (3.8%)
(主な就職、業界等) 健康増進施設、スポーツクラブ、スイミングスクール、サッカースクール、介護老人保健施設、デイサービスセンター、多機能リハビリ施設、病院、施術院、社会体育施設、幼児体育指導機関、学童クラブ 他			
(就職指導内容) 学生に対する就職支援プログラム、リリー文化学園主催「健康スポーツ合同企業説明会」に参加			
(主な学修成果(資格・検定等)) 健康運動実践指導者試験受験資格、スポーツクラブインストラクター資格取得			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62人	2人	3.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更また成績不振のため自主的に退学		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学業に関する悩みを抱える学生に対して、クラス担当教員を配置し相談窓口を設けている。さらに、学生指導部専任教員が担当教員のサポートを行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
こども未来学科	150,000円	620,000円	150,000円	その他内訳(設備費50,000円・維持費100,000円)
(2年次以降)	—	620,000円	100,000円	その他内訳(維持費100,000円)
介護ふくし学科	—	620,000円	100,000円	その他内訳 (維持費100,000円)
健康スポーツ学科	150,000円	620,000円	150,000円	その他内訳(設備費50,000円・維持費100,000円)
(2年次)	—	620,000円	100,000円	その他内訳(維持費100,000円)
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.lily.ac.jp にて公開		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校自ら自己評価を行うとともに、企業、業界団体が委員として参画する学校関係者評価を実施・公表し、評価結果に基づき学校運営体制の改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
リリーの森幼稚園	令和2年4月1日 ～令和6年3月31日	卒業生
ヴィクトリアナーサリー	令和2年4月1日 ～令和6年3月31日	卒業生
株式会社ケアファクトリー	令和2年4月1日 ～令和6年3月31日	学外関係者企業
リリースポーツクラブ	令和2年4月1日 ～令和6年3月31日	学外関係者企業
茨城県キャンプ協会	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日	学外関係者団体
リリーベール小学校	令和2年4月1日 ～令和6年3月31日	学外関係者学校
株式会社文化メディアワークス	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日	学外関係者企業
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.lily.ac.jp にて公開		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.lily.ac.jp にて公開
